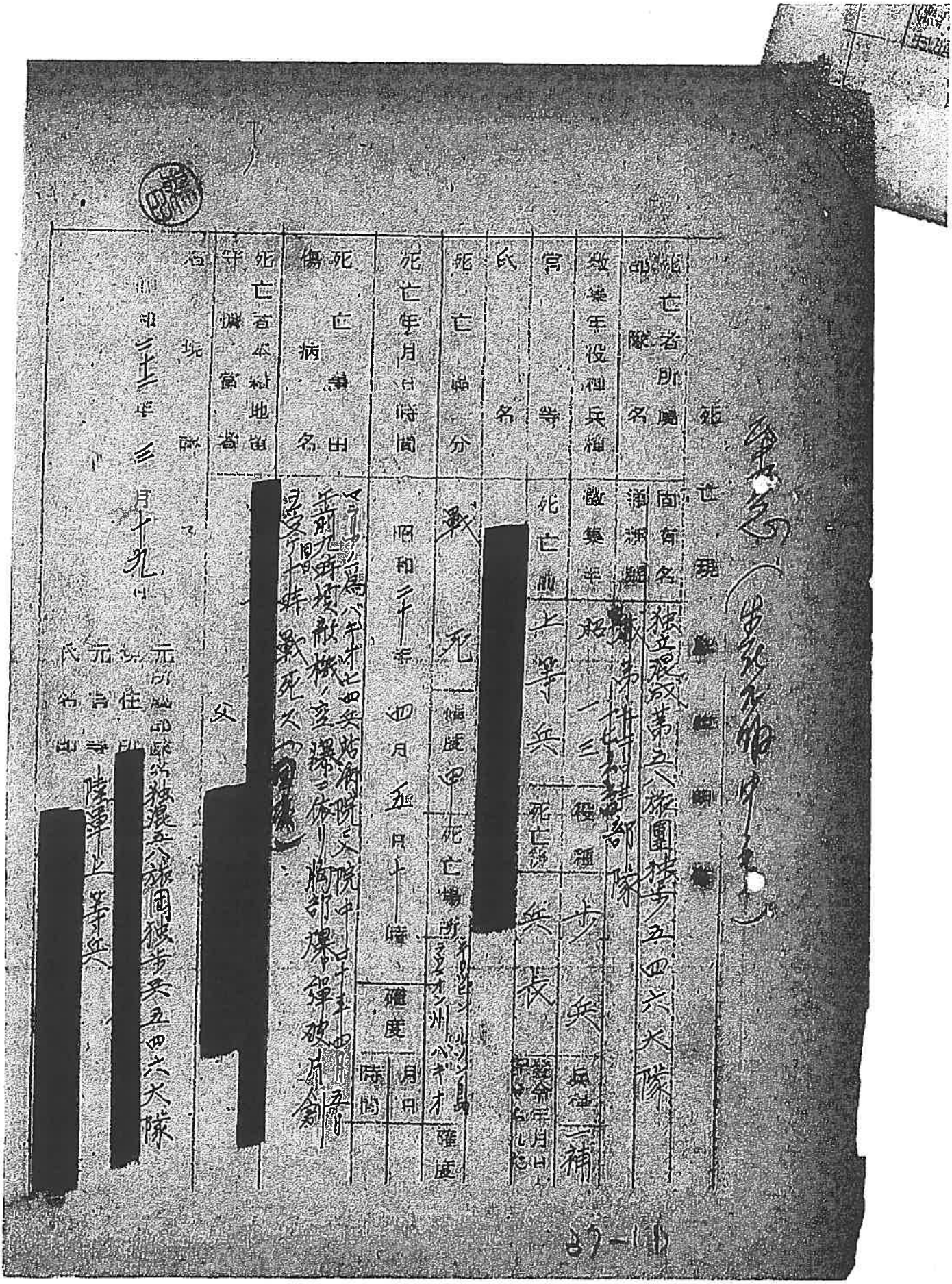

第　号（[illegible]）

# 死亡現認證明書

| | | | |
|---|---|---|---|
| 死亡者所属部隊名 | 固有名 | 独立混成第五八旅団独歩五四六大隊 | |
| | 通称號 | [illegible]部隊 | |
| 徴集年役種兵種 | 徴集年 | 昭和一三 | |
| | 役種 | 歩兵 | 兵役 一補 |
| 官等 | 死亡前 | 上等兵 | |
| | 死亡後 | 兵長 | 發令年月日 [illegible] |
| 氏名 | [redacted] | | |
| 死亡區分 | 戦死 | 編成内 | |
| | 死亡場所 | 比島ルソン島ラユニオン州バギオ | 確度 |
| 死亡年月日時間 | 昭和二十年四月五日十一時 | 確度 | 月日　時間 |
| 死亡事由傷病名 | マラリアノ為バギオ七四兵站病院ニ入院中二十年四月五日午前九時頃敵機ノ空爆ニ依リ胸部爆弾破片創ヲ受ケ同日十一時戦死ス（胸部爆創） | | |
| 死亡者本籍地留守擔當者 | [redacted] | 父 | [redacted] |

右現認ス

昭和二十一年三月十九日

元所属部隊　独混五八旅団独歩兵五四六大隊

元住所　[redacted]

元官等　陸軍上等兵

氏名印　[redacted]

67-18

641

# 現認証明書

[redacted]生部世話課

死亡者

所属部隊　威一七六〇二部隊

本籍地　[redacted]

徴集　大一五

役種　一補

兵種　歩兵

死亡前階級　一等兵　十九年十二月一日

死亡後階級　上等兵

氏名　[redacted]

死亡年月日時　昭和二十年四月五日六時三十分

死亡場所　比島セブ島英彦山

死亡区分　戦死体収容埋葬せり

死亡事由　迫撃砲弾中頭部破創

留守宅住所　[redacted]

続柄氏名　妻　[redacted]

死亡当時の状況　彼我の距離は此地を境にして十五米位迄肉薄し手榴弾は背の後方に落ち各人の迫力は凄絶でしたが夕暮になり突撃となりすぐ引返せしも迫撃砲弾の為戦死なされました
夜更けし所属分隊にて死体収容埋葬せられた

死没者との関係　戦死当時分隊は違へど仝じ隊で半ヶ月位前迄同分隊なりし戦友

遺骨、遺留品の有無　無し

右現認証明致します

昭和二十一年十二月二十七日

現認者

本籍　[redacted]

現住所　[redacted]

所属部隊　歩兵団（終戦当時）前威一七六〇二部隊

官等氏名　陸軍上等兵　[redacted]　㊞

23-11

# 現認証明書

[redacted] 地方世話 [redacted]

| | |
|---|---|
| 死亡者 | |
| 所属部隊 | 第一〇二師団七一大隊独立一中隊（武七 [redacted] |
| 本籍地 | [redacted] |
| 徴集 | 昭 3 |
| 役種 | 補充 |
| 兵種 | 歩兵 |
| 死亡前階級 | 一等兵 |
| 死亡後階級 | |
| 氏名 | [redacted] |
| 死亡年月日時 | 昭和 20 年 4 月 5 日 不 時 明 分 |
| 死亡場所 | セブ島／英彦山中 |
| 死亡区分 | 戦死 |
| 死亡事由 | 爆死 |
| 留守宅住所氏名 | [redacted] |
| 続柄 | 妻 [redacted] |
| 死亡当時の状況 | 昭和二十年四月五日セブ島英彦山の戦斗中迫撃砲弾に飛ばされて戦死した。 |
| 死亡者と現認者の関係 | セブ島上陸以後の戦友 |

右現認証明致します

昭和 22 年 4 月 9 日

| | |
|---|---|
| 現認者 | |
| 本籍 | [redacted] |
| 現住所 | 同右 |
| 所属部隊 | 一〇二師団、六八大隊独立一中隊 |
| 官等氏名 | 陸軍上等兵 [redacted] |

大川納

# 死亡現認証明書

一、本籍地 [redacted]

一、官等級等氏名、[illegible] 士 [illegible] 年 [illegible] 明 [illegible] 歳 [redacted]

一、所属部隊名（通称号） 戦車第二師團機動砲兵第二聯隊（撃第一二二〇〇部隊）

一、死亡年月日 昭和二十年四月五日頃 [illegible]

一、死亡場所 北部ルソン島バギオ東方四十粁[illegible]

一、死亡区分 戦死

一、死亡時ノ状況及所見

前記場所ニ於テ陣地構築ニ対戦車行動中敵砲撃ノ直撃ヲ受ケ

戦死ス [illegible]

右ノ通リ相違無キ事ヲ證明ス

一、現認者官等氏名印

昭和22年6月5日 撃第一二二〇〇部隊 [redacted]

陸軍伍長 [redacted]

7-10

644

# 死亡現認（確認）證明書

本籍地 [redacted]

所屬部隊 威一二五一九部隊 [redacted] 隊 階級（死亡前）陸軍 兵長 氏名 [redacted]

一死亡年月日 昭和20年4月5日 四時 十分頃

死亡場所 比島ブラカン州イボ地 神州山

死亡区分 戰死

一傷（病）名

一遺骨（品）狀況 不明

一死亡當時ノ狀況

敵三方面ヨリ進入之ヲ一方面ヘ向ヒ斬込本人直擊ニテ戰

右現認（確認）ス

昭和二十三年7月25日

現認（確認）者 現住所 [redacted]

所屬部隊 威一二五一九部隊 [redacted] 隊

階級 軍曹 氏名 [redacted]

陸軍

（日本ノート株）

63-10

# 死亡現認（確認）證明書

（裏面記載上の注意を見て書いて下さい。）

國の有無 ※

所屬部隊
固有：威
通稱：

細部所屬：船舶廠

役種（現地應召）：軍屬

兵種：

官等級（前）（後）：※

氏名：[redacted] 年 月 日生

本籍地：[redacted] 都道府縣 [redacted]

留守擔當者現住所：

留守擔當者氏名：[redacted] 續柄（義姉）

區分 內容 事項 記事

## 死亡者の資料

| 死亡諸元 | | | | | 遺骸の處理及び遺骨 | 遺留品 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 死亡日時 | 死亡場所 | 傷病名 | 發病時 | 死亡區分 | | |
| 昭和20年4月5日 | マニラ市モンタルバン地区 | | | 戰死 | 遺髪 | なし |
| ※ | ※ | ※ | ※ | ※ | | |

（死亡當時の狀況）

マニラ市モンタルバン地区露営地にて爆撃を受け破片頭部に命中即死せり

## 資料提供者

死亡と知った方法：露営地にて同居す

本人との關係：主従関係

現住所：[redacted]

所屬部隊：船舶廠

官等級氏名：元軍屬 [redacted]

※（調製月日）昭和29年7月2日

※（調製官署）[redacted] 世話課

昭和二十二年 9月 28日 [redacted] （第 810 號）

# 死亡者調査表

部長

課長

科長

連帯者

番號

整理番號

所屬部隊

固有名 ※独歩一六七大

通稱號 ※據一〇六二五

徴集年 ※昭16

役種 ※現

兵種 ※歩

官等級

死亡時の官等並に發令年月日 ※一 19年7月1日

死亡後 兵長

氏名（フリガナ） ※[redacted]

生年月日 [redacted] 年 [redacted] 月 [redacted] 日生

本籍地 ※[redacted]

留守現住所 ※[redacted]

擔當者續柄氏名 ※[redacted]

死亡年月日時 ※20年5月6日A時0分 甲

死亡區分 ※戦病死 甲

死亡事由傷病名 ※マラリヤ

死亡場所 ※比島ミンダナオ島ダバオ州ラプイ村落 甲

發病（受傷）年月日 ※20年3月15日 乙

死亡直前の職務 ※軽機関銃手

遺骨遺留品の状況 ※ナシ

資料入手の經緯及所見 ※右ハ據一〇六二五部隊第三中隊ニ在リテ討伐勤務ニ従事中悪性マラリヤト大腸炎ヲ併発中隊陣地構築中ニ就床一旬ニテ戦病死ス

右現認す

現認者

官等 ※曹長

所屬部隊 ※據一〇六二五部隊第三中隊

現住所 ※[redacted]

氏名印 [redacted]

物

決

官等級

未歸還届 [✓ 有] 無 第九〇一號

死亡者名票記載

死亡者原簿番號

公報番號

昭和二十二年九月二十二日調製 地方世話部

留守業務局所管課 比島部

調製者

◎本表中※印の欄以外は世話部にて記入すること
◎記載上の注意並に履歴欄は裏面にあり（記載上の注意をよく讀んでから記入の事）

[redacted]民生部世話課[redacted]

# 戰歿者認定（證明）書

一 死歿者所屬部隊名（留守擔當）　海抜基一八大

一 徴集年　昭九　役種　予備役　兵種　歩兵

一 官等級（死歿前）　陸軍伍長　（死歿後）

一 氏　名　[redacted]　[redacted]年[redacted]月[redacted]日生

一 死亡場所　リザール州マニラ東方棟岳（天神台）

一 死亡區分並ニ事由　戦死（爆死）

一 死亡年月日時間　昭和20年4月7日　時

一 死歿者本籍地留守担当者　[redacted]　父　[redacted]

右確認ス

昭和二十二年四月十六日

元所屬部隊名　海抜基一八六

現住所　[redacted]

元官等級　陸軍上等兵

氏名　[redacted]　印　[redacted]

22-11

# 現認證明書

一、本籍地 [redacted]

一、所屬部隊 海上輸送第丁大隊（暁第一六七四九部隊）

一、官等級氏名 陸軍軍曹 [redacted]

一、死亡場所 比島ルソン島イサベラ州アンガダナン、メイボト

一、死亡日時 昭和二〇、四、七、午后二時・分

一、死亡区分 戦病死（マラリヤ）

一、留守担当者住所氏名續柄 本籍地ニ同ジ（妻） [redacted]

右現認ス

現認者 [redacted]

元、海上輸送第丁大隊（暁第一六七四九部隊）

元 軍属（船長） [redacted] 印

[redacted] 地方世話部

1-10

1230

昭和二十二年[redacted]月　日　[redacted]文書號（二二文　号號）

[redacted]　文　第　號

# 死亡者調査表

昭和二十二年３月24日調製

[redacted]

| 部長 | 課長 | 長 | 科長 | 連帯者 |
|---|---|---|---|---|
| | | | | |

| | |
|---|---|
| 整理番號 | |
| 所属部隊固有名 | ※歩兵第[illegible]聯隊 |
| 通稱號 | ※東[illegible] |
| 留守業務局所管課 | 比島 |
| 徴集年 | ※昭14 |
| 役種 | ※予 |
| 兵科 | ※輜重 |
| 官等級 | |
| 死亡時の官等並に發令年月日 | ※兵長 |
| 死亡後 | 伍 |
| 氏名（フリガナ） | ※[redacted] |
| 生年月日 | [redacted]年　月　日生 |
| 本籍地 | ※[redacted] |
| 留守擔當者 現住所 | ※[redacted] |
| 留守擔當者 續柄氏名 | ※父※[redacted] |
| 死亡年月日時 | ※20年4月28日10時0分 |
| 死亡場所 | ※比島ルソン島[illegible]近郊 |
| 死亡區分 | ※戦死 |
| 死亡事由傷病名 | ※頭部盲管銃創 |
| 發病（受傷）年月日 | ※　年　月　日 |
| 死亡直前の職務 | ※ |
| 遺骨遺留品の状況 | ※無シ |
| 資料入手の經緯及所見 | ※[illegible] |
| 右現認す | [illegible] |
| 現認者 現住所 | ※[redacted] |
| 現認者 所屬部隊 | ※[illegible] |
| 現認者 官等 | ※[illegible]長 |
| 現認者 氏名印 | [redacted] |
| 決判 | [illegible] |
| 官等級 | |
| 死亡者名票記號 | |
| 死亡者原簿番號 | |
| 公報番號 | |
| 未歸還屆 | 有 無 |

世話部

地方世話部調製

調製者

◎本表中※印の欄以外は世話部にて記入すること

◎記載上の注意並に履歴欄は裏面にあり（記載上の注意をよく讀んでから記入の事）

30-10

650

# 戰死證明書

131-10

飛行甲

一、戰死者本籍地 [redacted]

戸主名續柄 戸主 氏名 [redacted] 年 月 [redacted] 日生

二、所屬（固有部隊名 通稱號隊號） 比島派遣 振武集團 第 [redacted] 安團 [redacted] 部隊 部隊 [redacted] 隊 隊

三、戰死者徵集年 昭和18年「役種 現役」「兵種 歩兵」死亡前官等級 陸軍 一等兵 任官進級年月日 昭和 年 月 日

四、戰死年月日時刻及場所 昭和二十年一月七日 マニラ南方テレサ東方十粁ノ山中

五、戰死現認ノ程度 現認

六、遺骨歸還ノ有無 ナシ

七、戰死當時ノ狀況ノ概要 友軍ノ陣地附近ノ電話線ヲ敵弾ニ切ラレ修理中 敵ノ火煙砲ニテ戰死ス

八、死亡區分 戰死 事由 全身火傷 發病年月日 昭和 年 月 日

九、其ノ他（上陸地ニ於テ死亡者發生ニ依リ中立地、部隊發動整理班、整理限定ナル、又ハ不明等記入）中立群ナレバ上陸年月日及上陸地

一〇、遺族ノ現住所 [redacted]

戰死者トノ續柄 [redacted] 氏名 [redacted] 伯父

右ノ通リ戰死セラレタルコトヲ證明候也

昭和二十二年 二月 日

證明者住所 [redacted]

戰死者トノ關係 戰友

所屬部隊名 兵種 官等級 陸軍 歩兵 兵長 氏名 [redacted] 印

市町村長證明箇所

右ノ通リ相違無キヲ證明ス

昭和二十二年 月 日 [redacted]

確認

# 戰死證明書

一、戰死者本籍地 [redacted]

戸主名續柄 戸主 [redacted] 弟

氏名 [redacted] 年 [redacted] 月 [redacted] 日生

二、所屬（固有部隊名 通稱部隊號） 第六三聯隊 [illegible] 派遣 [illegible] 第十四四七部隊 [redacted] 隊

三、戰死者徴集年 昭和十九年「役種 [illegible] 役」「兵種 歩兵」死亡前官等級陸軍 [illegible] 任官進級年月日 昭和 年 月 日

四、戰死年月日時刻及場所 昭和二十年四月七日十時頃 [illegible] ヤナギ陣地

五、戰死現認ノ程度 埋葬ス（直接目撃）

六、遺骨歸還ノ有無 ナシ

七、戰死當時ノ狀況ノ概要 [illegible]

八、死亡區分 戰死 事由 迫撃砲弾片 發病年月日 昭和 年 月 日、

九、其ノ他（上陸地ニ於テ死亡者整理ニ依リ申立ヲ部隊長ガ整理スルカ整理未定ナリヤ又ハ不明等記入）申立許ナレバ上陸年月日及上陸地

一〇、遺族ノ現住所 [redacted] 番

戰死者トノ續柄 妻 氏名 [redacted]

右ノ通リ戰死セラレタルコトヲ證明候也

昭和二十一年十月 [illegible] 日

證明者住所 [redacted]

戰死者トノ關係 分隊長

所屬部隊名 鉄十四四七部隊

兵種 歩兵 官等級陸軍 [illegible] 氏名 [redacted] 印

市町村長證明箇所

右戸主名續柄生年月日徴集年役種兵種氏名相違無之コトヲ證明ス

昭和二十一年十一月十七日

[redacted]

159-11

652

# 戰死證明書

一、死亡者本籍地 [redacted]

戸主名續柄　戸主

氏名 [redacted] [redacted]年[redacted]月[redacted]日生

二、所屬（部隊名・階級）　歩兵第三十一聯隊 [illegible] 派遣 [illegible] 部隊 [redacted] 隊

三、死亡者徴集年次　[illegible]七年　役種 [illegible] 役　兵種 歩兵　死亡前官等級 陸軍上等兵　任官進級年月日 昭和一九年二月一日

四、戰死年月日時刻及場所　[illegible]

五、戰死現認ノ程度　[illegible] [redacted] [illegible] [redacted] [illegible]

六、遺骨遺髪ノ有無　無シ

七、戰死當時ノ状況（摘要）　[illegible]

八、死亡區分　戰死　事由 [illegible]　發病年月日 昭和二〇年四月七日

九、其ノ他（上記各號ニ於テ死亡者發生ニ付テ [illegible]）（[illegible]）[illegible]

一〇、遺族ノ現住所 [redacted]

戰死者トノ續柄 [illegible]

氏名 [redacted]

右ノ通リ戰死セラレタルコトヲ證明候也

昭和二一年一月一二日

證明者住所 [redacted]

戰死者トノ關係 [illegible]

所屬部隊名 [illegible]

兵種官等級 [illegible]

氏名 [redacted] 印

市町村長閣下

177-11

17 号

# 死亡現認証明書

| | |
|---|---|
| 死亡者所属部隊名 固有名 | 威九一五〇部隊 [redacted] 隊<br>威飛六六戦隊 |
| 死亡者所属部隊名 通称號 | |
| 徴集年 兵種 役種 | 徴集年 十八年<br>役種 兵種 飛行兵 |
| 官等 | 死亡時 陸軍上等兵<br>死亡後 陸軍兵長 發令年月日 六節 部付された |
| 氏名 | [redacted] |
| 死亡区分 | 戦死 確度 甲 |
| 死亡場所 | 仏領 イムカン 確度 中 |
| 死亡年月日時間 | 昭和二十年四月八日 時 確度 月日 時間 |
| 死亡事由 傷病名 | 大腿部貫通銃創出血多量ノ為 |
| 死亡者本籍地留守擔當者 | [redacted] |

右現認ス

昭和二十年四月十六日

元所属部隊名 威九一五〇部隊

現住所 [redacted]

官等 陸軍曹長

氏名 [redacted] 印

17-13

# 死亡認證明書

本籍地 [redacted]

所屬部隊 威四七三八部隊[redacted]隊　官氏名　陸軍　死前／死後　上等兵 [redacted]　年　月　日生

一、役種、兵種、年次　第一補充、

一、死亡年月日時　昭和十七年四月八日、

一、同　場所　バタンガス州マルポコ山

一、同　区分　戰死

一、死亡事由又ハ病名及現認ノ事由（發病年月日）　砲彈~~破片創~~破片創

一、遺骨ノ有無　無

一、遺族ノ現住所氏名

一、續柄

右相違無キコトヲ證明ス

昭和廿二年八月二六日

現認者　本籍　所屬　威四七三八部隊[redacted]隊　階級氏名　陸軍兵長 [redacted]

129-10

655

状況不明者の資料届

本籍地 [redacted]

所属部隊固有名 第一〇三師團輜重隊

通稱名 威第一〇六〇七部隊

上等兵 [redacted]

昭和十八年六月一日マニラ港に上陸其の後北部ルソン島ドンカラ附近に於て昭和二十年一月十日マラリヤ発生昭和二十年四月八日午後三時頃戦病死す

死体は行軍のため其の場に埋る

北ルソン島ドンカラ州

戦病死

[redacted] 二〇・四・ [illegible]

威第一〇六〇七部隊

上等兵 [redacted]

同上

73-10

656

# [redacted]地方世話部死亡者認定票

昭和二十一年　月　日調製

[illegible]

本人

所屬部隊　固有名　搜索第十聯隊本部

通稱號　台湾鉄第五四五〇部隊[redacted]隊

本籍地　[redacted]

徵兵年　昭和十四

役種　現役

兵種　兵技

官等級　死亡前　曹長

死亡後

氏名　[redacted]年　月　日生

死亡年月日　昭和二十年四月八日

死亡場所　ルソン島アリタオ兵站病院

死亡區分　戰傷死

傷病名　左腹部盲貫銃創

留守担當者

現住所　[redacted]

續柄　繼母

氏名　[redacted]

認[redacted]表及資料[illegible][redacted]錄

右の通り戰傷死を確認し相違なきことを證明します

昭和二十二年一月二十四日

本籍地　[redacted]

所属部隊　台湾鉄第五四五〇部隊[redacted]隊

陸軍兵長　[redacted]

右の通り相違なきことを證明します

昭和二十二年一月二十四日

[redacted]

47-11

名簿所見

記載ス

保管ス

抹消ス

抹消シアリ

停年名簿頁

判決

官等級

印検点

認定

進級

告知

記錄

47.10

昭和二十二年五月二十日

戦没確認者 [redacted]

[redacted] 民生部世話課長殿

戦没者確認の報告

| | |
|---|---|
| 所属部隊 固有名 | 第四航空本部（明通） |
| 所属部隊 通称号 | 比島派遣威第一九九四二部隊 |
| 本籍地 | [redacted] |
| 徴集年 | 昭一七 |
| 役種 | 現役 |
| 兵種 | 飛行兵 |
| 官等級 | 上等兵 |
| 氏名 | [redacted] |
| 生年月日 | [redacted] |
| 戦没年月日 | 昭和二十年四月九日 |
| 戦没場所 | 比島ネグロス島ミサイ東方 |
| 戦没区分 | 戦死 |

## 戦没

### 戦没

陸軍上等兵 [redacted] は昭和二十年四月九日比島ネグロス島ミサイ東方地の敵兵站部を爆砕する任務を以って飛行隊本部附 [redacted] 准尉以下四十名を以て編成したる必死隊（斬込隊）に残留志願の上参加せり。時に戦果大いに擧げたるも一名の生還者もなく其の後の状況不明なるに付所属部隊 [redacted]

14-15

658

| | | |
|---|---|---|
| 戦歿状況 | | [illegible] [redacted] [illegible] [redacted] [illegible] [redacted] [illegible]<br>[illegible]戦死ノ[illegible]確認[illegible]<br>前記[illegible]戦歿[illegible] |
| 留守擔當者 | 本籍地 | [redacted] |
| | 現住所 | 本籍地ニ同ジ |
| | 續柄 | 父 |
| | 氏名 | [redacted] |
| 戦歿確認者 | 確認者氏名 | [redacted] |
| | 確認者當時ノ所屬部隊名 | 比島派遣第九九四二部隊第四中隊 |
| | 確認者當時ノ官等級 | 陸軍伍長 |
| | 確認者本籍地 | [redacted] |

# 死亡現認書

威一八九二六部隊 [redacted]

元陸軍一等兵 [redacted]

右之者昭和二十年四月九日ルソン島ニ於テノ戦死セシコトヲ現認ス

昭和二十二年三月十七日

威一八九二六部隊 [redacted]

元陸軍伍長 [redacted]

18-12

# 現認証明書

[redacted]地方世話部

所属部隊　比島派遣威第一七六〇二部隊

本籍地　[redacted]

## 死亡者

徴集　昭召

役種　補充兵

兵種　歩兵

死亡前官等級　一等兵

死亡後官等級

氏名　[redacted]

死亡年月日時　昭和弐拾年四月九日拾時〇分

死亡場所　ヒリッピン　セブ島　かがルハン

死亡区分　戦死

死亡事由　砲弾破片創

留守担当者氏名　[redacted]

続柄　妻

死亡当時ノ状況　昭和二十年三月二十六日米軍セブ島ニ上陸スルヤ[redacted]付近かがルハン地区ニ於テ小富士地区隊第七中隊ト共ニ交戦四月九日中隊長ノ命ニヨリ停止陣地ノ確保ニ服シ九日十三時頃斥候遂行帰隊途中敵ニ発見サレ盛ナル砲撃ニ當リ其ノ一弾ハ[redacted]右後方ニ来リ腰部ニ炸裂両肩部右大腿部左股部ニ破片創ヲ受ケ出血多量ノ為十七時頃死亡ス

死亡者ト現認者トノ関係　昭和十九年十月一日ヨリ二十年三月敵上陸時迄陣地構築作業班長ニ自分ガ監督ニ當ル　當時自分班員デアル　戦斗当時同中隊

右現認証明致シマス

昭和二十二年二月十八日

## 現認者

本籍　[redacted]

現住所　〃

所属部隊　比島派遣威第一七六〇四部隊

官等級氏名　陸軍獣醫務軍曹[redacted]

甲

# 死亡現認証明書

昭和　年　月　日調

| | | |
|---|---|---|
| 死亡者 | 死亡所属部隊 固有名 | 第十四軍野戦兵器廠 |
| | 死亡所属部隊 通称號 | 威第一〇九八〇部隊 |
| | 本籍地 | [redacted] |
| | 死亡前の階級 | 陸軍衛生上等兵 |
| | 氏名 | [redacted] |
| | 遺骨遺留品 | 遺骨遺留品ナシ |
| | 死亡場所 | 比島呂宋島マニラ地区 |
| | 死亡年月日 | 昭和二十年四月九日十時 |
| | 死亡区分 | 爆撃ニ依ル戦死 |
| | 受傷箇所 | 頭部爆弾破片創 |
| | 病名 發病年月日 | |
| 現認事由 | | 右者昭和二十年四月九日午前十時頃上官ノ命ニ依リ衛生業務ニ従事中敵機ノ空爆ニ依リ約十米余リ前方ニ爆弾[illegible]シ其ノ際頭部ニ破片創ヲ受ケ戦死セリ |
| 記載上の注意 | | 一、現認事由は当時の情況を詳載に記入する<br>一、本証明書は三部作製する。<br>一、階級は必ず死亡前のを記載する<br>一、死亡区分戦死の時は受傷箇所を戦病死のときは病名発病年月日を記載する<br>一、死亡場所、死亡区分、死亡年月日の確度正確ナル時は甲概ね確実なるときは乙疑がはしきものは丙とその下に記載する |
| 証明者 | 元所属部隊 | 第十四軍野戦兵器廠 |
| | 本籍地 | [redacted] |
| | 現住所 | 同 |
| | 階級氏名 | 陸軍衛生軍曹 [redacted] 右 |
| | 氏名の下に必ず捺印する。 | |

34-10

662

765

昭和二十二年　月　日 [redacted]（第　號）

[redacted] 民生部第一世話課

# 死亡者調査表

昭和二十二年六月廿四日調製

留守業務局所管課

調製者

| 課　擔 | 係　長 | 臨定 | 本籍 | 部隊 | 公報 | 遺骨 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | |

整理番號

所屬部隊 陸海軍名 ※オ十四方面軍兵站オ五中隊

通稱號 ※

徴集年 ※昭9　役種 ※予　兵種 ※歩兵

死亡時の官等級 ※[redacted] 上

死亡時 位 伍

氏名（フリガナ）※[redacted]

生年月日 [redacted] 年 [redacted] 月 [redacted] 日生

本籍地 ※[redacted]

留守現住所 ※同右

擔當者 續柄氏名 ※妻 ※[redacted]

死亡年月日時 ※20年4月9日08時0分 甲

死亡場所 ※比島ルソン島サバンガン 甲

死亡區分 ※戦病死 甲

死亡の傷病名 ※~~主病~~ マラリヤ三日熱

發病（受傷）年月日 ※20年3月21日 甲

死亡直前の職務 ※

遺骨遺留品の狀況 [illegible]

資料入手の經緯及所見

※バギオ出発部隊転進間マラリヤ発病せるも引續き行軍を續行ーサバンガンに到着露営中戦病死す

遺留品は當時分隊長であった [redacted] 軍曹が持参せるも以後不明

右現認す

現認者 現住所 ※[redacted]

所屬部隊 ※オ十四方面軍兵站隊オ五中隊

官等級 ※軍曹　氏名印 [redacted] 印

判決

官錄 等級 狀況

未歸還届　有・無　第　號

死亡者名票記載

遺骨受付番號

公報番號

◎本表中※印の欄以外は第一世話課にて記入すること

◎記載上の注意並に服欄は裏面にあり（記載上の注意をよく讀んでから記入の事）

◎不備事項中判明しあるものは余白に朱書すること

オ9-10

663

# 戰時死亡者現認證明書

| | |
|---|---|
| 所屬部隊 | 威11807部隊<br>第二航空通信聯隊(留) |
| 死亡 年月日時 | 昭20.4.10. |
| 死亡 場所 | マニラ東方約50粁ノ「イポ」陣地 |
| 死亡 區分 | 戰死 |
| 死亡 事由 | 敵機爆撃ニ依ル爆弾破片ニテ死亡 |
| 遺骨（遺留品） | ミ ｜ ナ |
| 兵科 | 野砲 |
| 役種 | 現役 |
| 徴集年 | 大・昭 十九年 |
| 官等級 死亡前（發令年月日） | 陸軍一等兵<br>（1.3.20附） |
| 官等級 死亡後 | 陸軍上等兵 |
| 氏名 | [redacted] |
| 生年月日 | [redacted]年[redacted]月[redacted]日生 |
| 本籍地 | [redacted] |
| 現住所 | （　）右ニ同ジ |
| 留守擔當者現住所 | [redacted] |
| （續柄）父 氏名 | [redacted] |

## 右現認す

昭和二二年一〇月二〇日

現住所 [redacted]

所屬部隊 比島派遣威一一八〇七部隊

官等級氏名 陸軍上等兵 [redacted]

上陸地名 浦賀

上陸地支局に於て連絡済や否や 連絡否

上陸月日 昭和二十一年十二月二十日

印

調製上の注意

一、所屬部隊は通稱固有部隊名をも判明程度に記入のこと

二、死亡欄は出來得る限り詳細に特に事由、傷、病名、發病（受傷）入院年月日入院病院名及其の他參考資料添付せ記入のこと、記事多き場合は附箋添付記入のこと

三、遺骨（遺留品）欄は有無有る場合は何處にありや（現地、上陸地支局、留守宅等記入のこと）

四、認印を忘れぬこと

五、同一人に對し二部調製のこと

## 履歴

| 年月日 | 記事 |
|---|---|
| 昭一九.九.二三 | 入營（入營部隊の名稱） [illegible] |
| 昭一九.一二.一五 | 門司港出發 |
| 昭一九.一二.三一 | 比島[illegible]上陸 |
| 自昭 年月日<br>至昭 年月日 | 勤務の概況 |

| 年月日 | （入隊以後の進級時期） |
|---|---|
| 昭一九.九.二五 | 陸軍二等兵 |
| 二〇.三.一 | 陸軍一等兵 |
| 二〇.四.一〇 | 陸軍上等兵 |

45-15